

令和 2 年度「相談支援部会」進捗状況等報告

部会の年間テーマ

- ・「相談支援専門員とは」 ～ 1 から振り返る相談支援の在るべき姿～

運営方法

- ・部会参加者の中から運営委員を選出し、障がい保健福祉課担当者と共に部会開催とは別日に運営委員会を開催し部会内容等を検討・企画していく。原則部会当日の 30 分前にも運営委員会を開催し当日の内容確認や準備を行う。

現在までの状況

昨年は班編成をせず、運営委員会を別日に設けて企画に注力し部会運営を行った。年度末に部会運営に関するアンケート（回収率、約 43.7%）を行った所、企画内容に対する評価は概ね良好で、特に基本に立ち返った企画（担当者会議のロールプレイ等）は特に好評であった。今年度も昨年度同様に運営委員や障害保健福祉課担当者には負担をかけるが同様の手法を使い企画運営を行う予定にしていた。

しかし、新型コロナウイルスの影響により、予定していた部会は殆ど行えていない。7月の運営委員会にて8月・9月に行う内容も検討し実施する予定にしていたが、これも中止となった。現在唯一7月の部会のみ実施できたが、参加者も多く（60名弱）今後実施するにしても会場の確保が一番の課題になるかと考えている。相談支援専門員同士が一堂に会して協議ができることが一番の魅力であったが、今後は開催方法等についても、今まで通りでの開催が厳しければ何らかの工夫を取り入れる必要も出てくるのではないかと考えている。今後の予定については現時点では未定である。

	部会開催日時	運営委員会	部会内容
4月	開催予定なし	開催予定なし	
5月	コロナウイルスにより中止	コロナウイルスにより中止	
6月	コロナウイルスにより中止	6/11、12名参加	
7月	7/8、15時～17時	7/13、10名参加	・初任者研修・現任者研修に係る情報提供 ・グループワーク「新型コロナウイルスにより業務で困ったこと・工夫したこと」
8月	コロナウイルスにより中止		

令和2年8月21日

令和2年度 第1回熊本市障がい者自立支援協議会 就労部会報告

就労部会の目的

熊本の就労支援の課題とニーズを知り、その解決策を考え、よりよい就労支援を目指す。

会員個人として

- ・情報収集
- ・ネットワーク
- ・学びの場
- ・自己成長
- ・相談

組織として

- ・広報活動
- ・人材育成
- ・地域貢献
- ・情報収集
- ・その他

今年度の取組について

コロナウィルスの影響により、昨年1月を最後に部会の開催は見送られている。2月に開催を予定していた就労フェアも中止となり、各班で企画していた内容も中断した状態となっている。そのため今年度も引き続き5つの班構成で活動を行うこととし、就労フェアの準備も視野に入れ各班作業に取り組む予定であったが、部会は1回しか開催できていない。

(1) 運営委員会開催状況

- 4月23日(木) リモートでの会議を実施
- 5月28日(木) あいぱる会議室
- 6月19日(金) あいぱる会議室
- 7月17日(金) あいぱる会議室
- 9月18日(金) あいぱる会議室(予定)

(2) 部会の内容

	内容	参加人数
7月3日(金)	1 自立支援協議会の目的について(熊本市より) 2 各班代表による班活動の紹介 3 各班活動 ・前年度までの活動内容の振り返り ・今年度の活動、就労フェアについて ・コロナ禍での取組み	38名

(2) 各班の取組について

企業就労班

【一般企業への就労の可能性を広げる取り組みと啓発活動】

昨年度は「しごといく vol.8」を作成し、一般企業等へ配布し障害者雇用の啓発に役立っている。今年度はコロナため、活動ができておらず「しごといく」の作成は難しいため、就労支援ガイドブックの見直しを検討している。

ホッとワーク班

【福祉事業所や関係機関の連携を深めるための活動、ツールづくり、情報発信】

前年度に引き続き、一般就労に関する当事者の意識調査、特にコロナ後の社会情勢の変化も踏まえて、再度アンケートの実施を検討。

ワークイノベーション班

【福祉事業所のより良い仕事作り、給与・工賃向上に向けた取り組み】

コロナ禍で、より安全に働けるためのガイドラインの作成。各事業所での取り組みや改善策などの情報を共有し、日々の業務に取り入れる。

お悩み解決班

【就労支援に関するさまざまな問題点について、その解決に向けて検討する】

事例検討を実施し、問題解決に向けての協議を行っている。コロナの影響による利用者の不安感に対する支援について協議。事例を集約し全体会で共有もできればと考えている。

当事者対話班

【当事者会メンバーが主体となり、就労や生活・余暇について考える】

当事者が活用しやすい「就労支援ガイドブック」の作成を検討。就労フェアの企画を中心にやって行っていたので、今年度開催できれば企画を継続する予定。

(3) 今後の予定

令和 2 年度第 2 回就労部会（全体での会は行わず、班毎に分かれての活動を実施する。）

日程：10 月 2 日（金）

場所：熊本市教育センター

8 月、9 月の部会はコロナのため中止。

以上

子ども部会報告

1. 前年度（平成31年度）の部会の取り組みについて

（1）ミニ研修

（発達支援における子どものアセスメントについて、私学特別相談員の活動について等）

（2）子どもプラグの進捗状況報告

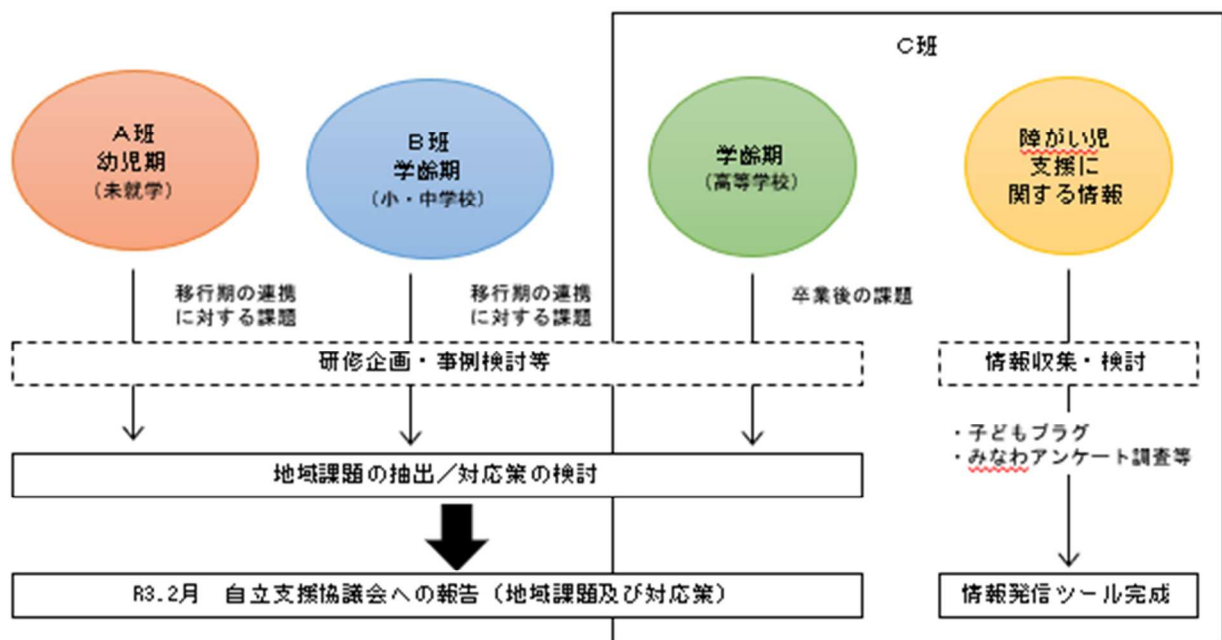
（3）余暇活動支援マップの更新作業

（4）事例検討

2. 今年度の部会の取り組みについて

今年度は本会議へ地域課題等の提案を行うことを目標に、障がい児のライフステージ毎に班編成を行い、それぞれの班での課題の整理を行う。

<イメージ>



<テーマ(例)> ※各班で検討

- ・移行期における課題（就学前、進学前、児から者への移行など）
 - ・防災や新型コロナウイルス対策における課題
 - ・それぞれの班に応じた研修企画や事例検討
 - ・研修会の開催
- 等

2020年スケジュール

	内容
4月	コロナにて部会中止
5月	運営委員会開催（全体部会は中止）
6月	運営委員会開催（全体部会は中止）
7月	各班所属希望アンケート実施（全体部会は中止）
8月	各班所属について・取り組みテーマについてアンケート実施（全体部会は中止）
9月	〃
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・各班作業、グループワーク ・事例検討等 コロナの状況に応じて対応
11月	
12月	
1月	
2月	
3月	年度の振り返り、次年度の計画

令和2年度 第1回熊本市障がい者自立支援協議会
精神障がい者地域移行支援部会 報告

【昨年度の主な取り組み】

地域相談支援（地域移行支援・地域定着支援）のサービス利用促進、医療機関と相談支援事業所の連携強化に向け、以下の活動を実施した。特に昨年度はモデル病院および相談支援事業所が、積極的に地域移行支援の利用対象者を選出し、実際に支援を行うことで、支援の流れやサービス利用の良し悪し、サービス利用に至るまでの期間とプロセスに関して検証を行った。またその結果をもとに、障がい保健福祉課および各区福祉課とサービス利用の簡素化に向けた検討を行った。

また、2月には相談支援部会との合同部会研修を開催し、地域移行支援の利用のタイミングや関わる支援者の役割、連携方法について学び、医療と福祉の相互理解の機会を作っていた。

	主な活動内容
5月	事業説明・年間計画の確認、精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築支援事業についてグループワーク
6月	精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築支援事業 国会議参加報告 研修 地域移行支援基礎研修 講話「精神障がい者の地域移行をめぐる動向～精神科医療・地域移行支援の現状について～」 グループワーク
7月	研修 障がい福祉サービスの現状および地域移行支援について グループワーク
8月	台風のため中止
9月	研修 講話「住宅確保要配慮者支援事業の概要」 グループワーク
10月	研修 講話 「精神科病院におけるアウトリーチ支援の役割と実践」 「訪問看護ステーションにおける支援の役割と実践」 グループワーク
11月	研修 熊本県地域移行支援研修会 部会は実施せず。
12月	精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築支援事業 第2回会議参加報告、グループワーク
1月	次年度以降の部会の在り方・進め方について、グループワーク
2月	自立支援協議会 相談支援部会との合同部会 研修 「地域移行支援の実践」 講話・座談会・実践発表+グループワーク
3月	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止

【令和2年度の事業計画】

- ・新たな部会の在り方・進め方作り
- ・区部会の取り組みの活性化
- ・地域相談支援の利用および支援の理解促進
- ・相談支援事業所、高齢介護関係機関、他職種との交流 など

令和元年度までは、熊本市精神障がい者地域移行支援部会を月1回開催し、また、区毎に関係機関による検討を進めてきた。

令和2年度からは、従来の熊本市精神障がい者地域移行支援部会を「全体部会」とし年4回開催し、区毎の連絡会を「区部会」と位置づけ地域(区)の課題抽出、具体的な計画・取り組み、顔の見える連携づくりを目的に年3～5回開催を計画。

しかし、新型コロナウイルス感染症の発生の状況等に鑑み、「全体部会」6月・9月の開催を中止。

「区部会」も2区では開催したが、3区では中止の状況。

今後は、リモート会議やニュースレターの発行、メール・電話など今できる方法で活動していく予定。

令和2年度 精神障がい者地域移行支援 全体部会 年間計画(案)

開催回数 : 年4回(6月・9月・12月・2月)
 開催日時 : 9:30 ~ 11:30(第2火曜)
 開催場所 : ウェルパルクまもと 3階 すこやかホール

参加機関 : 精神科病院、障がい者相談支援センター、関係団体、
 各区役所保健子ども課及び福祉課、こころの健康センター、精神保健福祉室

	内容	備考
4月	4/15 事務局会議	
5月	5/11 事務局会議 5/15 西区部会 参加12名 5/20 北区区部会予定 中止 5/26 中央区部会予定 中止	自立支援協議会 (5/22)延期
6月	6/9 全体部会予定 中止 事務局会議 (・自己紹介、事業説明・年間計画確認、地域移行支援基礎研修、区部会報告(全体共有)) 6/18 南区コアメンバー打ち合わせ会	
7月	7/22 北区部会 参加10名 7/27 南区ネットワーク会議で区部会周知予定 中止	
8月	8/4 事務局会議 8/21 西区部会2回目開催予定 中止 8/25 東区区部会1回目予定 中止 8/17中央区ニュースレター 発行	自立支援協議会 (8/21)中止
9月	9/8 全体部会 予定 中止 事務局会議(広域アドバイザーとのリモート会議) ・自己紹介、事業説明・年間計画確認 ・地域移行支援基礎研修 ・区部会報告(全体共有)・新型コロナウイルス対応についての情報交換	
10月	10/21 北区部会2回目開催予定	自立支援協議会 (10/2)
11月	熊本県地域移行支援研修会 予定 中止 11/12東区部会2回目予定(東区福祉ネットとの合同開催)	
12月	12/8 全体部会 予定	
1月		
2月	2/9 全体部会 予定	自立支援協議会 (2/19)
3月	(区部会)	

詳細の内容については、部会参加者の意見を聴取しながら進める。
 毎回、部会終了後に事務局会議を実施。

これまでの地域移行支援部会のイメージ図(～令和元年)

熊本市障がい者自立支援協議会 (年3回開催)

進捗報告
課題提起等

進捗管理・評価
対応策の検討

現在の部会

精神障がい者地域移行支援部会 (月1回)

精神科病院

医師・看護師・PSW
OT・心理等

相談支援事業所
(委託・指定)

関係団体

区役所

こころの健康
センター

ピアサポーター

地域体制整備
アドバイザー

精神保健福祉室

必要に応じ作業班
を設置

事務局会議
部会長・副部会長
アドバイザー
精神保健福祉室

・事業の進捗管理
・研修の企画開催
・区毎の取組支援

情報共有

熊本県
地域移行支援
研修会 (年1回)

課題把握・
方策の検討

進捗確認・課題の共有

区単位での関係機関による取組み(随時開催)

中央区

東区

西区

南区

北区

令和2年度以降の地域移行支援部会のイメージ図

熊本市障がい者自立支援協議会（年3回開催）

進捗報告
課題提起等

進捗管理・評価
対応策の検討

区部会も含めて
部会と考える

全体部会（従来の精神障がい者地域移行支援部会）
年4回（6月・9月・12月・2月/年）開催

・進捗報告
・情報提供
・研修等の実施

精神科病院

医師・看護師・PSW
OT・心理等

相談支援事業所
（委託）

関係団体

区役所

こころの健康
センター

ピアサポーター

地域体制整備
アドバイザー

精神保健福祉室

必要に応じ作業班を設置

進捗確認・課題の共有

区部会（開催例：5月・7月・10月・3月/年）
各区の中心となり得るメンバーが旗振り役となって実施

中央区

東区

西区

南区

北区

コアメンバー会議

部会長・副部会長

地域体制整備アドバイザー

精神保健福祉室

コアメンバー（検討中）

正副部会長・アドバイ
ザー等によるサポート

・事業の進捗管理
・地域移行支援の進捗確認
・部会における研修の企画
・区毎の取組支援 など